

事業者名：身延登山鉄道株式会社

点検期間：2026年7月25日～8月9日

点検項目	点検結果	問題点等	備考（措置等）
（１）安全管理の実施状況			
○ 索道の運転に関わる係員に対する輸送の安全確保のための指導・監督の状況並びに健康管理の状況	○	特になし	・搬器出発時の指差し確認動作を各自で再確認。職場巡視の際指導をしました。熱中症対策として、適切な冷房の使用、各職場にタブレットを配布し、水分補給を指示しました。
○ 索道施設の保守・工事に携わる係員に対する輸送の安全確保のための指導・監督の状況並びに健康管理の状況	○	特になし	・索道技術管理者より保守・点検整備方法を指導しました。WBGT（暑さ指数）計測器を用いて水分補給と休憩、体調不良時の申告を指示しました。
○ 保守等作業時における事故の防止及び作業後の安全確認の徹底の状況	○	特になし	・作業員及び運転係・信号係との連絡の徹底を図り、ロックアウト器具を用いて作業員の安全確認後に運転をおこないました。
○ 自社で発生した内部要因による事故等の再発防止対策の実施状況	○	特になし	・旅客の熱中症対策として、山麓通路へのエアコン設置、ホームへのミストファン、スポットクーラーの導入、駅舎前へのミストなど、旅客の熱中症リスクの軽減を図りました。
（２）索道施設の保守及び工事等の実施状況			
○ 関係法令等に基づく点検・検査の実施状況	○	特になし	・機械・電気・搬器など、法令に基づく定期点検を実施しました。
○ 点検・検査の結果を踏まえた補修の実施状況	○	特になし	・山頂～山麓信号室間の直通電話が不通となり、蓄電池、本体を交換し異常が無いことを確認しました。
○ 工事施工管理の実施状況	○	特になし	・日報や月報など、作業後の報告書により、工事管理を実施しました。また、12月に計画している運休作業の日程を、業者と検討しました。

点検項目	点検結果	問題点等	備考（措置等）
（３）事故・災害発生時の体制等の整備状況			
○ 事故・災害発生時の情報伝達及び連絡体制の整備状況	○	特になし	・防災組織図、連絡系統図など、最新版を各部署に掲示し、各自で役割分担の再確認をしました。
○ 荒天に備えた気象情報の把握と必要な措置の実施状況	○	特になし	・インターネットの気象情報を基に、発雷、落雷、降雨情報を入手し、期間中に雷による運転見合わせ、営業時間の短縮をおこないました。
○ 旅客の避難誘導體制の整備状況	○	特になし	・従業員に対し避難誘導経路及び地震防災規程の再確認を指示しました。
○ 訪日外国人を含めた旅客への情報提供体制の整備状況	○	特になし	・外国語の案内（カラフルボイス）を導入し、異常気象時の案内に活用しました。
○ 災害対策設備（気象観測設備、災害防止設備）の点検・整備の状況	○	特になし	・風向風速計、緊急地震速報の警報発信試験、気象予報システムの確認を実施しました。
（４）テロ対策の実施状況			
○ テロ対応に関する規程類の管理及び周知徹底	○	特になし	・テロ警戒マニュアルの見直し及び回覧による従業員への周知を実施しました。
○ テロ対応に関する教育訓練の実施	○	特になし	・安全会議においてにテロ発生を想定した通報手順などを職員に周知しました。
○ 防犯カメラによる監視、停留場内、車内等の巡回等	○	特になし	・南部警察署身延山駐在員による巡回、社員によるカメラ監視、巡視点検を実施しました。
○ 不審物等の発見に係る旅客への協力要請放送・掲示等	○	特になし	・山頂・山麓駅舎構内に不審物発見の依頼を掲示し、旅客へ協力を要請しました。
○ 業務に必要な鍵の管理状況	○	特になし	・山麓事務所内のキーボックスに収納し、厳重に管理しました。
○ テロ発生時の関係箇所への連絡、対応方法の指示に係る体制	○	特になし	・防災組織図、連絡系統図など、最新版を各部署に掲示し、各自役割分担の再確認をしました。

点検項目	点検結果	問題点等	備考（措置等）
（５）停留場における事故防止対策の実施状況			
○ 停留場における監視の状況	○	特になし	・カメラによるホームの監視を実施しました。
○ 放送等による旅客への注意喚起の実施状況	○	特になし	・ホーム信号係から旅客に対し、停留場内や乗降時の段差の注意喚起をしました。
○ 停留場の安全設備の点検・整備の状況	○	特になし	・ホーム乗降口シャッターのネジ増し締めを実施しました。

（注）「点検結果」欄には、○（措置済）、×（未措置）により記入すること。